

# 「親子でつくろう我が家のルール」 標語優秀作品表彰式



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



# 「親子でつくろう我が家のルール」 標語優秀作品表彰式

応募総数

12,564件

優秀作品

7作品

文部科学大臣賞



「親子でつくろう我が家のルール」  
標語優秀作品表彰式

**主催：「親子でつくろう我が家のルール」  
運動推進協議会**

**文部科学省**

**社団法人日本PTA全国協議会**

**独立行政法人国立青少年教育振興機構**

**独立行政法人国立女性教育会館**

# 「親子でつくろう我が家のルール」 標語優秀作品表彰式

## ○選考委員

青 沼 貴 子 (漫画家)

石 野 伸 子 (産経新聞大阪本社編集委員)

岩 田 喜美枝 (株式会社資生堂代表取締役執行役員副社長)

加 藤 秀 次 (社団法人日本PTA全国協議会理事)

菊 川 律 子 (独立行政法人国立青少年教育振興機構理事)

黒 川 伊保子 (株式会社感性リサーチ代表取締役)

黒 笹 慈 幾 (小学館エデュケーター)

小 出 裕 子 (財団法人民間放送教育協会事務局長)

俵 万 智 (歌人)

寺 西 達 弥 (文部科学省大臣官房審議官(生涯学習政策担当))

服 部 幸 應 (服部栄養専門学校理事長・校長)

増 田 明 美 (大阪芸術大学教養課程教授)

森 隆 夫 (お茶の水女子大学名誉教授)

和 氣 太 司 (独立行政法人国立女性教育会館理事)

「親子でつくろう我が家のルール」  
標語優秀作品表彰式

「まもろうね ちいさなやくそく わすれずに」

【熊本県 真砂 尚弥（小学校3年）】



なかなか親子でのやくそく事が守れません。小さな事をつみかさねで大きな事が出来ると思います。やくそくはしんらいのだい一歩！少しずつ、守っていけるようがんばります。

# 「親子でつくろう我が家のルール」 標語優秀作品表彰式

## 「ありがとう 今日は何回 言えるかな」

【香川県 池田 凜太郎（4歳）】



日々の生活の中であたりまえにしていることが相手も自分も感謝しているのに忘れてしまっているように思えます。ありがとうは魔法の言葉だと思います。  
我が家のむすこは、家族一ありがとうを言います。ごはんを食べた時、ディズニーランドへ行った時、お店でごはんを作ってくれた人にも、みんなに”ありがとう”を言います。  
ありがとうという感謝の気持ちをこれからも大切にしてほしいと思います。  
”ありがとう”が増えたら社会全体が明るくステキになると思います。  
ありがとうであふれる社会、ステキです。

# 「親子でつくろう我が家のルール」 標語優秀作品表彰式

## 「『ねえ、あのね！』 はなす心 きくきもち」

【栃木県 松本 鳩（小学校1年）】



この春、小学校へ入学しました。保育所と違って毎日の様子は伝わってこないかと思いきや、毎日「お母さん！今日は報告しなければならない事があります！」とクラスメートの怪我のことを話したり、「重大発表！今日は全校生徒お休みの子がいませーん」とか「私、〇〇くんと毎日ケンカしてるの」(ドキッ！?)とか。

小さい頃からどんな小さなことも、忙しい時も(なんとかがんばって!)子どもの話をいっぱい聞いてあげたいと思ってきました。そのおかげでしょうか、と思い、子どもの語りかけをきくすばらしさを標語にしたいと思いました。

「ねえ」とか「あのね」の言葉えらびは子どもにしてもらいました。

「親子でつくろう我が家のルール」  
標語優秀作品表彰式

# 「助け合い家族ではぐくむ思いやり」

【岐阜県 松岡 麻世（小学校6年）】



なんでも協力して助けあう事が思いやりの心を育てるのではないかと話し合いました。



# 「親子でつくろう我が家のルール」 標語優秀作品表彰式

## 「朝が来た！！早起き・お散歩・おいしいごはん」

【新潟県 片平 裕美（33歳）】



我が家には6才・4才・2才の3人の幼稚園児がいます。  
主人が2ヶ月程前から朝のウォーキングを始めました。気候も良くなり今では家族5人で毎朝、お散歩をしています。（1番下の子はベビーカーですが・・・）

お散歩を始める前は寝起きが悪く、ボーっとし、朝ごはんもなかなかおはしが進みません。私もイライラして「早くたべなさい！！」の連続でした。

今では朝の太陽の光をあび、きれいな空気を吸いお花や虫をさがしたり。時には四ツ葉のクローバーも見つかったりと・・・。目も少しずつ覚めてきます。帰ってくるとおなかがペコペコ。以前とは比べものにならないくらい、たくさん食べてくれるようになりうれしいです。

# 「親子でつくろう我が家のルール」 標語優秀作品表彰式

## 「9じまでに ふとんにはいるよ あしたもげんき！」

【愛媛県 浜辺 優吾（小学校1年）】



わがやでは、おとうさんのかえりがおそく、ようちえんのころは、おとうさんのかえりをまってたくさんあそんでからねていました。だから、あさとてもねむくぼけっとしたかおでようちえんにいっていました。

しょうがっこうにはいったら、あさもはやくなるし、べんきょうもあります。おとうさんとあそびたいけどすこしがまんして、とけいが9じになったらふとんにはいり、つぎのあさ、あたますっきり！げんきもりもりでどうこうしたいとおもいます。

# 「親子でつくろう我が家のルール」 標語優秀作品表彰式

「がんばったね。できたね。よかったね。  
うれしいたね(種)が集まったね。」

【栃木県 江波戸 智也（小学校2年）】



子供は、未熟児で生まれたので様々な面で、のんびりだったり、お友達がかんたんに行えることも、何度か繰り返してできるようになることが多いタイプの子供です。

この時も、去年、自力で歩いて参加できなかったわんぱく集会に、先生と手をつながず現地まで歩いていけたので、私が「頑張ったね！できたね！良かったね」と声をかけたら「嬉しいたね(種)がいっぱい集まったね」と、学校の国語でたんぽぽのちえを学びながらたねに関心があったからか・・・こんな受けこたえをしてくれたので、それ以来、子供が頑張った時に、言っています。